

次期情報処理センターシステム各種ストレージサービス廃止に伴う ストレージデータ退避手順（参考）

■はじめに

本書では、次期情報処理センターシステムで廃止となる各種ストレージサービスにおいて、利用者が利用している各種データを退避するための参考手順を記載します。

■対象者

本書は、現行の情報処理センターシステム（以降、System2019 という）の「教室端末を利用したことがある利用者」、「講義用の各種ドライブを授業等で利用したことがある利用者」である学生・教職員・その他利用者を対象としております。

■本書手順を実施する必要がある方について

本書は、System2019 の提供サービスである、個人用ドライブ (Z :)、講義用公開ウェブドライブ (W :)、土樋講義用ドライブ (K :)、多賀城講義用ドライブ (S :)、泉講義用ドライブ (M :) を利用したことがある方で、ストレージ内のデータを退避したいと思う方。

※2023 年 1 月 18 日以降、上記ストレージ内のデータ利用を保証できません。

■データの退避先について

データの退避先については、USB メモリをご自身でご用意いただくなど、データの退避先の用意は利用者にて検討および準備いただく必要があります。2023 年度も在籍する方は、在籍期間中は本学の Google Workspace for Education サービスの Google ドライブも利用可能です。

■本書手順にかかる関連サイト情報

本書で利用する各種サービスの詳細は以下をご確認ください。

- ・東北学院大学情報処理センターホームページ～ストレージ～
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itc/service/service_list/storage/
- ・東北学院大学情報処理センターホームページ～講義用公開ウェブ～
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itc/service/service_list/lectureweb/
- ・東北学院大学情報処理センターホームページ～リモートファイルアクセス～
https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itc/service/service_list/remotefileaccess/
- ・東北学院大学 IT ナビ～Google Workspace for Education～
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itnavi/services/google/>

<本書に係る問い合わせ先について>

土樋情報処理センター : 022-264-6502 : 原田、澤谷、芳賀、大平

多賀城情報処理センター : 022-368-1100 : 高橋、斎藤

泉情報処理センター : 022-375-1181 : 坂本、水上、平間

(参考手順)

A. 講義用公開ウェブドライブ (W :) のデータ退避について (学内限定)

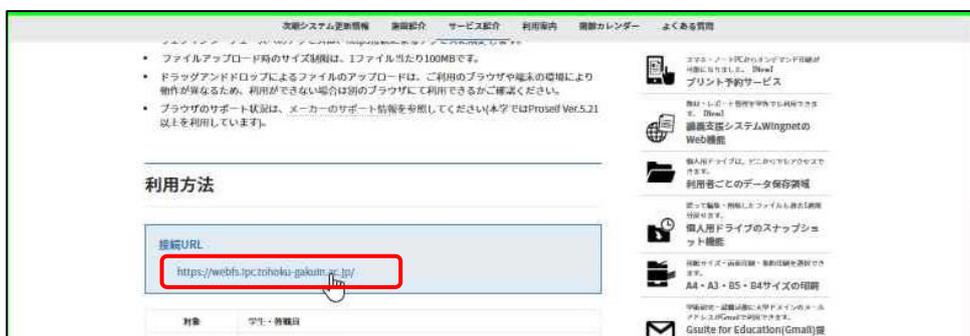
講義用公開ウェブ HP のマニュアルを確認し、データ退避を行ってください。

B. 個人用ドライブ (Z :) のデータ退避について (学内・学内問わず)

1. 東北学院大学の情報処理センターのホームページ<<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itc/>>にアクセスします。
2. **サービス紹介**→**リモートファイルアクセス**をクリックします。



3. リモートファイルアクセスページ内の [利用方法] -[接続 URL]をクリックします。



4. Proself のログイン画面に統合認証アカウント (名誉教授アカウント) のユーザーID とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。



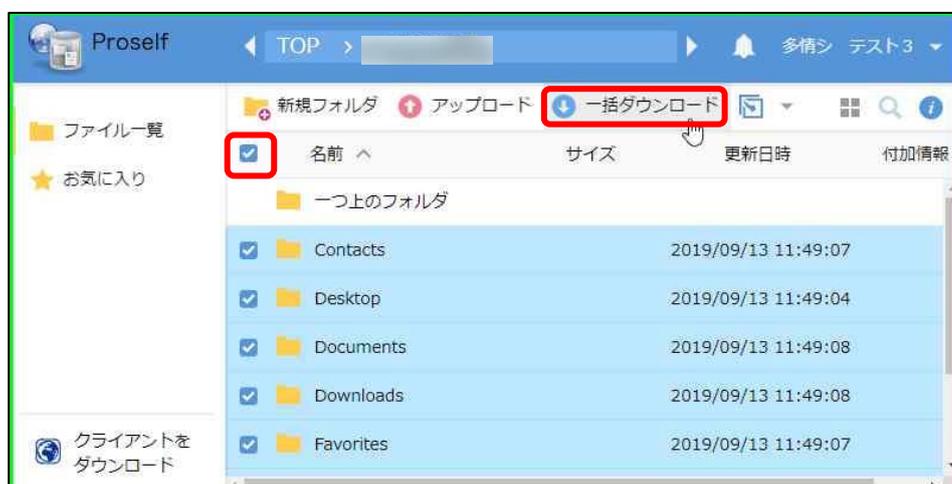
5. ログインに成功するとファイル一覧が表示されます。

ファイル一覧の中の[統合認証アカウント (名誉教授アカウント)]フォルダをクリックします。



6. [名前]の左のチェックボックスをチェックし、ファイルやフォルダすべてが選択された状態で[一括ダウンロード]をクリックします。

※必要最低限のデータ退避とする場合は、ご自身でダウンロードしたいファイルを選択しダウンロードしてください。



7. 6でダウンロードした退避用データを、準備頂いたデータ移行先に保存をしてください。

※情報処理センターの教室 PC から Google ドライブへデータを退避する場合は、アプリをインストールできないため、Google Chrome を利用して、大学 Google アカウント等にログインいただき、WEB アプリの Google ドライブにドラック & ドロップでデータを退避できます。

C. 講義用ドライブ (K :), (S :), (M :) のデータ退避について (学内・学内問わず) ※教職員限定

B と同様の手順となります。※B の 5 の手順で「g-stf-e」フォルダを選択してください。